

# 国立音楽院認定 ギターテック

**主催団体** 国立音楽院  
**受験資格** 国立音楽院の所定コースを学び、カリキュラムを修了すると資格を取得できる  
**目安となる取得期間** 1年

## ニュース & TOPICS

ギターのセットアップやギターサウンドのメイキングを行うための知識やスキルを証明。ギターの調整や音づくりのプロとして、ライブ会場やレコーディングスタジオなどで活躍できる。ミュージシャンから信頼を得ることで、ギターや機材について相談されたり、リハーサル時の演奏を任せられたりするギターテックも少なくない。

**どう学ぶ?** 実践重視の授業で即戦力スキルをマスター

国立音楽院のギタークラフト・リペア科で学ぶ。エレクトリックギターのセットアップや、ギターの音色を変化させるエフェクターを使ったサウンドメイクの知識やスキルをマスター。学内で開催されるライブや学内スタジオでの現場実習もある。

**どう稼ぐ?** ローディー会社への就職、フリーランスで活躍など

コンサートなどの裏方を担う“ローディー”の会社に就職するほか、ライブハウスで経験を積んでフリーになる道も。実力が認められて、音楽事務所やミュージシャンから指名されることも。コンサートに帯同した場合の収入は1日3~8万円ほど。

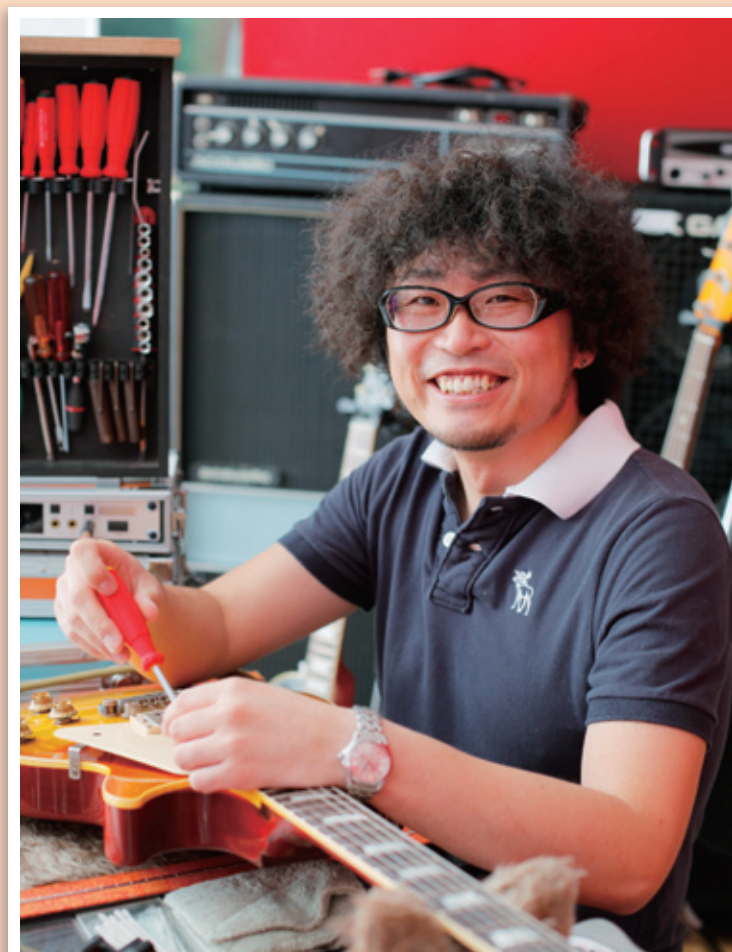


ギターのメンテナンスについて、実演しながら指導する井上さん。スクール内の録音スタジオで、アンプやエフェクターを使ったサウンドメイクの実習も行っている。

「いい音楽を届けたい。ミュージシャンと、夢を共有できる仕事」

「音楽を創る仕事です」と、井上さんは言う。左手でギターを押さえ、右手でマイナストライバーを回しながら、ミュージシャンではない。けれども、ライブ会場やレコーディングスタジオ

## ミュージシャンとともに、 音楽を創り上げるのがギターテック。 スキルを身につけて資格を取得すれば、 音楽業界の第一線で活躍できます



井上欽央さん (37歳)

楽器メーカー勤務を経て、25歳で独立。埼玉県入間市でギタークラフト&リペア工房「HiP」を運営しながら、多くのミュージシャンをサポート。

が彼のステージだ。「弦の張り替えやチューニングといったギターのセットアップ、音色を変化させるために必要なエフェクトボードを使ったサウンドメイクなどを行っています。ミュージシャンが演奏に集中できる環境を整えること。それが、ギターテックの仕事なのです」  
ときには、サウンドについてミュージシャンから相談を受けることもある。「楽器や機材のセレクトで、アドバイスをすることもあります。音のカウンセラー」としてミュージシャンをサポートできるのも、この仕事の醍醐味といえるでしょう」  
ライブなら当日訪れた観客を、レコーディングならCDを買ってくれたファンを、喜ばせたい。井上さんの想いは、ミュージシャンとまったく同じだ。「私が、表舞台に立つことはありません。けれども、もうひとりのバンドメンバーという気持ちで働いています」

「プロのギターテックとして、スクールの講師として、活躍の場は多彩」

現在、10人ほどのミュージシャンの専属ギターテックとして活躍中。そんな井上さんには、後進を育てる講師としての顔もある。「週1回、ギターのセットアップからメンテナンス、アンプやエフェクターを使ったサウンドメイクなどの授業を担当しています」

音楽業界への転身をめざして、  
学んでいる社会人も多数。  
『好き』という気持ちさえあれば、  
ギター歴に関係なく挑戦できます。

生徒は、ミュージシャンやミュージシャン志望の若者が中心。けれどもその中の約1割は、音楽とはまったく異なる世界で働く社会人だという。「音楽業界への転職を考えて、資格取得をめざされる方もいます。ギターが弾けるに越したことはありませんが、未経験でも可能性はある。演奏と同じで、『好き』という気持ちさえあれば技術は後からついてくるのです」  
世界的に有名なミュージシャンだって、誰もが最初は素人。できない理由なんて、何ひとつない。